

ラビット通信

発行元 / 東住吉区役所 区民企画課 地域安全・防犯・防災 なでしこラビット隊 2014年7月 発行
〒 546-8501 東住吉区東田辺 1-13-4 TEL 06-4399-9990 FAX 06-6629-4564

- ★ 中学校での防災訓練、福祉施設での防災学習会 1面
- ★ 駒川欄干の花飾り・区役所キャンペーンのお知らせ・ラビット防災通信 2面

中学校での防災訓練や福祉施設での防災講習に参加

矢田中学校・白鷺中学校で防災訓練を実施！地域のちから！

矢田中学校と白鷺中学校の3年生を対象とした防災訓練があり、区役所も運営補助にいきました。

矢田中学校では、可搬式ポンプを使用した放水訓練やジャッキを使っでの倒壊家屋からの救出訓練、AEDでの救急救命処置を学び、積極的に訓練に取り組んでいました。

白鷺中学校では、10人を1班としたグループに分かれて、校区内を調査する「まちあるき」や、可搬式ポンプによる放水訓練が行われました。「まちあるき」では“災害が起きたら？”を想定して、自分たちが住んでいる地域で災害時に役立つ場所や避難所など、また可搬式ポンプやジャッキ・バールなど救助資器材が収納されたポンプ庫のある公園、AEDの設置されている場所など確認して歩き、地図に書き込むことによって災害時の街の「強み」や「弱み」を認識することができました。

両校の訓練には、消防署や地域防災リーダーの方々も参加いただき、地域と中学生が一体となって災害時に備える貴重な経験ができました。

災害時には「自助・共助・公助」の連携が大事です。今回はその連携の重要性を体験できた訓練であり、地域に通学する中学生は大変貴重な存在だと実感しました。

これからの地域の原動力になる中学生の活躍に期待し、訓練を終えました。



社会福祉法人ふれあい共生会で「手づくりランプ」を作成

7月4日(金)に、社会福祉法人ふれあい共生会で、防災学習会が開かれ、講師依頼があり危機管理室・区役所で参加してきました。

入居者や職員の安否確認から緊急時の役割分担、地域との連携や医療機関への移送、緊急入所が必要な方への対応など話合いました。また、施設としての災害時マニュアル作成に向け入居者だけでなく、避難して来られた方の介護や施設を利用する場合の生活・健康・注意点について学習。講習中には、安全で簡単に作ることのできる「手づくりランプ」のキットを区役所で用意し、参加者みんなで作りました。



駒川欄干 花の植替え

駒川の橋に架かるプランターの花苗の植替えをお手伝いしました。花苗は、クラインガルテンスタッフのメンバーが種から育てた苗を使い、地域の方・クラインガルテンスタッフ・南部方面公園事務所・区役所の協働で植替えを行いました。



植替え 



水やり 



完成 

現在、桑津・田辺・東田辺・鷹合の各連合にまたがり、駒川に架かる橋、25橋に花苗が植えられています。これから暑い時期に入り、きれいな花を保つためには水やりがたくさん必要になります。地域の方々でご協力いただける方は、水やりをよろしくお願いいたします。

自転車の前かごにひったくり防止カバーを取り付ける・・・

区役所安全キャンペーンは 8月22日(金)午後4時～ です♪♪

ラビット防災通信 ③備えよう非常持ち出し品

みなさん、さまざまな災害に見舞われ避難せざるを得ない状況となったとき、すぐに持ち出すことのできる「非常持ち出し品」と「非常備蓄品」の準備をしていますか？

「非常持ち出し品」とは、避難が必要な時に最初に持ち出すもので、“食料品、飲料水、ラジオ、医薬品、貴重品”などがあげられます。持ち出し品は、住所・名前が記入されたリュックサックにまとめておき、すぐに持ち出せるように準備しておきましょう。重さの目安として男性は約15kg、女性は約10kgです。

また、子どもの持ち出し品としては、避難所で楽しく過ごせるようなものもリュックに入れておきましょう。小学生なら本やマンガ、スケッチブックや色鉛筆、トランプなど避難所生活でも癒しとなるものがあるといいですね！

「非常備蓄品」とは、災害復旧までの数日間に必要なもので、食料品、飲料水に加えて“衣類や生活用品など”があり、水道・ガス・電気などのライフラインが止まった場合を想定して、被災後3日間から1週間程度の備蓄物品を常に準備しておきましょう。また、日常に使用するものや食べるもの（カップ麺や缶詰など）を少し多めに用意しておく「ローリングストック法」もあります。



“備えあれば憂いなし” まずは災害に備えましょう。